

学校施設の機能と魅力向上～トイレ洋式化と体育館空調～

令和7年12月3日

京都市教育委員会 教育環境整備室

1 はじめに

2 トイレ洋式化の加速

3 学校体育館への空調設置

学校施設の機能と魅力向上策

【従来】

大規模

- ・校舎の長寿命化改修
- ・体育館リニューアル

全面改修

それぞれ年3校程度、1校数億円規模
計画～設計～竣工まで3年

【今後】

小規模
中規模

- ・トイレ洋式化
- ・体育館空調

部分改修

トイレ（加速化）R7 55校
空調（新規） R8 約30校



より多くの学校施設で社会情勢や教育課題に
きめ細やかに応じた対策が必要



R10年度末までに90%
R15年度末までに全校



2 トイレ洋式化の加速

現
状

「洋式化」の取組

1 平成10年度：全面改修である「快適トイレ」 * 整備開始

* 「洋式化」のみならず、床面や照明、配管等を含む改修

平成25年度～30年度：「全体洋式率6割」を目標に、「洋式化」 * 集中整備

* 洋式トイレ整備を追加実施

全体洋式率：H24年「28.7%」→H30年「58.9%」に向上

2 令和元年度～：「快適トイレ」を中心に整備を継続

全体洋式率：R6年「72.7%」(R7.3.31)

課
題

□ 子どもたちが和式トイレを使用したことがない

□ 高齢者や障害を持つ方のニーズ

□ 國土強靭化実施中期計画（令和7年6月6日閣議決定）

令和12年度までの小・中学校の全体洋式率100%
(文科省1/3補助)



洋式トイレの必須化

今後の取組（整備目標・整備内容）

【目標】

「普通教室付近のトイレ」及び

「体育館・武道場のトイレ」を原則全て洋式化

— 令和10年度末を目指し原則洋式化

【整備手法】

「洋式トイレ」整備（既存和便器の洋式化に特化）を大規模で実施

(参考)

「快適トイレ」整備の主な内容（R7時点）

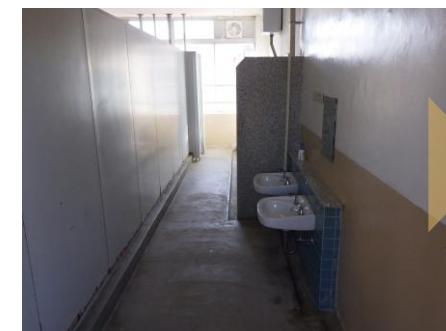
昭和建築で工事歴がない等「老朽トイレ」が対象

洋式化、照明LED化、多目的トイレ設置、配管取替、床面乾式化 → 費用大 工期長

「洋式トイレ」整備



(参考) 「快適トイレ」整備

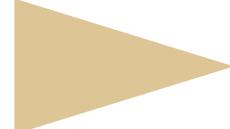


今後の取組（整備目標・整備内容）

小・中学校 全便器数 (R7.3.31)	和便器	洋便器	洋式率
	約3,000基	約7,000基	約70%



【改修】対象箇所 便器数 (R7.3.31)	和便器 (改修)	洋便器 (非改修)	洋式率
校舎 普通教室付近 *普通教室のある校舎	約1,700基	約5,400基	約76%
体育館・武道場	約280基	約400基	約59%
合計	約2,000基	約5,800基	約74%

整備手法	洋式化数	R10洋式率目標
洋式整備 (複数校一括工事)	約1,500基	
洋式整備 (個別修繕)	約150基	
快適トイレ (個別工事)	約350基	普通教室付近と 体育館・武道場 100%

市民の生活環境向上のため、地下鉄駅、公園、スポーツ施設、文化施設など幅広い公共施設において、トイレ環境向上に向けた取組を実施

(主な取組)

1 地下鉄駅

地下鉄駅トイレのアップグレードプロジェクトとして、全ての地下鉄駅（31駅）トイレを対象に、令和7年度から令和20年度までに「トイレの美装化」や「温水洗浄便座」の設置、便器の洋式化（現在の洋式化率：74.5%→令和20年度目標100%）やオストメイト用設備の設置などの「バリアフリー化」を進める。

2 公園

こどもまんなか公園魅力アッププロジェクトとして、子ども達をはじめ、誰もが安心・安全・快適にトイレを利用できるよう、全ての公園トイレ（269公園283箇所）を対象に、便器の洋式化を進めている。（現在の洋式化率：32%（R6年度末時点））

令和7年度から令和16年度までに洋式化率100%を目指し、残りの186公園192箇所でトイレリニューアル又は和式便器の洋式便器への交換を実施予定

令和7年度予定：トイレリニューアル工事6公園6箇所、便器洋式化22公園22箇所

3 その他

(1) 公共施設

ア 築年数や利用者の数、属性等を勘案して選定した次の 20 施設を対象に、トイレの機能性・快適性を向上させるリニューアルを実施（順次整備を進め、概ね令和 10 年度までに全 20 施設を整備）

【リニューアルに向け着手中（10 施設）】

- | | | |
|--------------------------------------|-------------|--------------|
| ○ウィングス京都 | ○横大路運動公園体育館 | ○武道センター |
| ○勧業館 | ○中央斎場 | ○ひと・まち交流館 京都 |
| ○中京区総合庁舎 | ○下京区総合庁舎 | ○洛西支所 |
| ○下京地域体育館・下京青少年活動センター・崇仁児童館（※）同一棟内の施設 | | |

【今後、リニューアル予定（10 施設）】

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| ○東部文化会館 | ○呉竹文化センター | ○西文化会館ウエスティ |
| ○北文化会館 | ○右京ふれあい文化会館 | ○山科地域体育館 |
| ○京エコロジーセンター | ○障害者スポーツセンター | ○こどもみらい館 |
| ○京北合同庁舎 | | |

イ 上記以外にも、洋式化率の低い施設について、和式便器の洋式化を順次実施中

(2) 公衆トイレ

市内 70 箇所に設置している公衆トイレについて、平成 27 年度から令和元年度の間、便器の洋式化やセンサー式手洗いの導入など 66 箇所について集中的にリニューアルを実施済み。

今後、ベビーチェア、おむつ交換台、オストメイト対応設備の設置など、公衆トイレ設備のアップグレードを検討中。⑧



3 学校体育館への空調整備

背景と目的

体育の授業をはじめ大規模空間を活かした教育活動の場。
部活動や避難所としても重要な役割を担う施設。



近年の猛暑など、体育館の環境を向上させる重要性が増している中、国の交付金創設を契機として、
令和8年度から15年度までに、全ての京都市立学校の体育館への空調整備に着手することを決定。

	棟数	設置数	本市%	全国%
小・中学校	248	7	2.8%	22.7%
総合支援学校	9	0	0.0%	51.0%

文部科学省「公立学校の体育館等における空調(冷房)設備の設置状況」調査（令和7年5月1日現在）

整備方式およびスケジュール

- ① 国の交付金期限でもある、令和15年度までに全市立学校への整備完了を目指します。
- ② **令和10年度までの3年間で、中学校・義務教育学校（小中学校）・高等学校・総合支援学校、** 続いて、
令和11年度以降に、小学校を順次整備します。
- ③ **既に予定されていた体育館リニューアル改修や学校統合に伴う改築に合わせた整備などにより、加速化**
します。



＜整備対象＞

市立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、総合支援のうち空調未整備の232校の体育館及び武道場264棟

整備順序の考え方

●中学校・義務教育学校・総合支援学校・高等学校の先行整備

(ア) 短期間で市内広域をカバー、様々な機会で広い市民の皆様に活用いただけれることが見込まれること。

(イ) 小学校からの進学先である中学校を先行整備することで、整備進捗の間に空調の効いた体育館を利用できる子どもが多い点を考慮。

(ウ) 総合支援学校は、子どもたちの健康管理の重要性を、
高等学校は、部活動での必要性を考慮。

(エ) 災害時整備が行き渡るまでは、空調設備のある「ふれあいサロン」や特別教室を活用しながら、災害時の避難状況にも応じた運用で対応。

整備対象 空調未整備の体育館・武道場 232校・264棟

<内訳>

- 小学校 144棟
- 中学校 79棟 (うち武道場 16)
- 義務教育学校 18棟 (うち武道場 1)
- 高等学校 14棟 (うち武道場 3)
- 総合支援学校 9棟

<整備済の学校> 7校・8棟

学校統合や新築工事の際に、校舎の地階など、体育館の設置条件により通風が十分に確保できない場合に特例的に整備してきた。

	小	中	義	高
体育館	洛央小	下京中	開晴小中	—
武道場	—	下京中	向島秀蓮小中 栄桜小中 洛西陵明小中	京都工学院高

「空調設備整備臨時特例交付金」

- 国の令和6年度補正予算で新設

<対象> 公立小・中・義・支の屋内運動場（体育館・武道場）への新設・断熱改修工事

<算定割合> 1／2

<工事対象額> 400万円～7,000万円

<対象期間> 令和6年度～令和15年度

<主な要件> (ア) 避難所に指定されていること (イ) 断熱性は、交付金の期間内に確保すること

空調方式

- 災害時の使用を想定し、停電時にも運転可能な電源自立型ガスヒートポンプエアコン（注）を基本。

(注) 停電時においても、電力供給なしで室外機に内蔵されたバッテリー電源により運転を開始し、発電した電力で空調や照明などを使用可能とする「自立発電運転」機能が搭載されている機器。

ご清聴ありがとうございました。

本件に関する問い合わせ先：

京都市教育委員会 教育環境整備室

電話：075-222-3796